

# ふるさと探訪



[39]

句で、明 青野町Ⅱと同八幡宮宮  
治時代に 司の塩見有紀さん(29)  
同八幡宮 の2人が取り組んだ。  
の宮司を 村岡さんは文部科学  
務めてい 省認定の社会通信講座  
た人を偲 「古文書講座」を修了  
た人。 「古文書講座」を修了  
したほか、財団法人・  
社会通信教育協会認定  
の「生涯学習インスト

村岡さんと塩見宮司は 明治3年に初代宮司と  
照明を手にしながら、  
額に顔を張り付けるよ  
うに近づけて一字一字  
を調べた。  
すると、額には「八  
幡宮奉額清水佐男里追  
善句合」「題 四季之  
部 折句サヨリ シミ  
ツ」と書かれることも  
に、86句の俳句が記さ  
れていることが確認で  
きた。  
明 清 宗 見 宗 見 宗 見  
治 水 太 重 郎 郎 郎 郎  
3 水 太 重 郎 郎 郎 郎  
年 年 年 年 年 年  
8 8 8 8 8 8  
月 月 月 月 月 月  
8 8 8 8 8 8

高津町の高津八幡宮 住む古文書の専門家ら  
で昨秋、社殿の軒下 が調査。その結果、額  
から1枚の額が見つか った。額には崩し字で  
何かが書かれており、 素人が判読するのは困  
難だったため、市内に

## 高津八幡宮の俳句額

# 初代宮司の死悼み奉納

## 明治34年の追善句会の作を

64。墨で書かれた文 字は色あせ、かすかに 残っている状態となっ ている。解説作業は昨 年11月から今年6月に かけて、綾部史談会 の村岡敬公さん(85)Ⅱ が見やすくなるため、

## 史談会の村岡さんと塩見宮司が解読

平成19年2 月に同八幡宮 の宮司に就任



照明の光を当てて額の文字を調べる村岡さん(手前)と塩見宮司=高津町で

まり小原の声や林檎 水・初代宮司の末え 額に書かれた作者の 部分を見ると、「戸田 里柚」や「私市 梅 丈」「東八田 三子」 といった俳号があり、 俳句会には地元の高津 以外からも多数の参加 者があつたことがうか がる。